

平成28年度
岡山県学力・学習状況調査

調査結果を活用した授業改善のポイント



岡山県教育庁義務教育課

国語





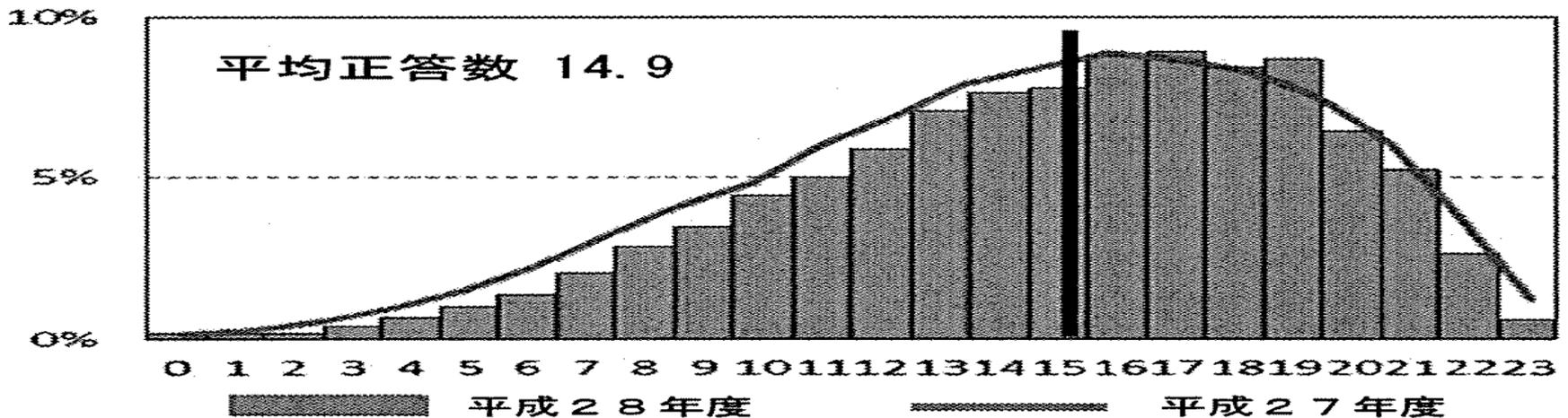
結果の概要①

平成28年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

○ 国語科平均正答率（上段が平成28年度、下段が平成27年度）

平均正答率	話す・聞く	書く	読む	知識・理解・ 技能
64.9	60.6	59.3	50.3	74.4
62.7	—	56.8	44.3	68.2

○ 国語科正答数度数分布





結果の概要②

平成28年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

③ 各教科の設問ごとの状況

大問番号	中間番号	小問番号	出題のねらい	観点	正答率	無解答率	★：同一問題 ◎：類似問題										
							正答率グラフ										
							0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
1	(1)	①	小学校で学習した漢字(温暖)を読むことができる。	言	92.7	1.9	[Bar chart: 90.8%]										
		②	小学校で学習した漢字(圓らない)を読むことができる。	言	96.7	1.0	[Bar chart: 95.0%]										
		③	小学校で学習した漢字(エンガン)を書くことができる。	言	44.2	13.3	[Bar chart: 40.0%]										
		④	小学校で学習した漢字(之れ)を書くことができる。	言	79.8	9.4	[Bar chart: 75.0%]										
	(2)	①	小学校で学習した漢字(受信)を読むことができる。	言	94.5	0.6	[Bar chart: 92.0%]										
		②	小学校で学習した漢字(重ねる)を読むことができる。	言	98.3	0.4	[Bar chart: 96.2%] ★										
	(3)	①	小学校で学習した漢字(セカイ)を書くことができる。	言	98.4	0.6	[Bar chart: 96.0%]										
		②	小学校で学習した漢字(アビる)を書くことができる。	言	59.6	16.7	[Bar chart: 62.3%] ◎										
2	(1)		文の意味のつながりを考えて、一文を二文に分けて書くことができる。	言	25.4	9.3	[Bar chart: 50.7%] ◎										
	(2)		主語と述語を理解することができる。	言	68.3	0.8	[Bar chart: 51.1%] ◎										
	(3)	①	ことわざを理解することができる。	言	61.2	20.2	[Bar chart: 60.0%]										
		②	慣用句を理解することができる。	言	73.7	1.1	[Bar chart: 77.2%] ◎										
3	(1)		目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えることができる。	書	42.7	11.1	[Bar chart: 40.0%]										
	(2)		資料を基に、目的や意図に応じた文章を書くことができる。	書	66.9	5.0	[Bar chart: 65.0%]										
	(3)		文章をよりよくするための話し合いにおける司会者の工夫を理解することができる。	話・聞	60.6	1.5	[Bar chart: 60.0%]										
	(4)	①	目的に応じて文章と話し合いを読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	書	62.6	11.2	[Bar chart: 60.0%]										
		②	目的に応じて文章と意見を読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	書	65.2	15.3	[Bar chart: 60.0%]										
4	(1)		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	読	11.5	14.9	[Bar chart: 10.0%]										
	(2)		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	読	65.8	15.5	[Bar chart: 60.0%]										
	(3)		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	読	67.0	6.9	[Bar chart: 60.0%]										
	(4)		登場人物どうしの関係を読み取り、その内容を整理してまとめることができる。	読	49.3	10.1	[Bar chart: 45.0%]										
	(5)		文章を読んで与えられた文章のよさについて、自分の言葉でまとめることができる。	読	63.3	12.0	[Bar chart: 60.0%]										
	(6)		文章を読んで与えられた文章のよさについて、自分の言葉でまとめることができる。	読	44.7	37.2	[Bar chart: 40.0%]										
					64.9	-	[Bar chart: 60.0%]										

漢字の読みでは、取組の成果が見られる一方、漢字の書きについては、確実な定着に向け、更なる取組が必要。

一文を二文に分ける設問では、敬体で書くべき文を常体で解答した生徒が多く、細かな部分にも気をつけながら問題に取り組むことが必要。

物語文において、登場人物同士の関係を読み取り、整理することや、文章表現のよさについて自分の言葉でまとめる力の定着に向けた取組が必要。



結果の概要③

◎漢字の読みや主語と述語の理解など、基礎的・基本的な知識・技能を問う設問において定着状況は良好である。

△漢字の書きやことわざを例示する問題では、正答率が低い問題や無解答率が高い傾向があり、確実な定着に向け、更なる取組が求められる。

△文学作品を読む能力を問う問題において、登場人物同士の関係を読み取り整理することや、文章表現のよさについて読み取ったことをまとめ、自分の言葉で表現する力の定着に向けては、更なる取組が必要である。



課題の見られた問題から、問われている力を読み解く

平成28年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む力が問われています。



小学校学習指導要領 国語編 第5・6学年の内容 「C 読むこと」の指導事項

- ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること
- イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。
- ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。
- エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。
- オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。
- カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

(安東みきえ「天のシーソー」による)

(安東みきえ「天のシーソー」による)

(安東みきえ「天のシーソー」による)

4
一年二組では、クラス全員で同じ本を読み、友に入った場面についてお互いに朗読文を書いて見せ合うことになりました。そこで山崎さんと大谷さんは、次の場面を紹介しようと考えています。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(安東みきえ「天のシーソー」による)

① この文章を題名と後半の②に分けたら、後半が描まる初めの五文字を、文章中から抜き出して書きなさい。

② 「……」の部分が「……」と分けたら、後半が描まる初めの五文字を、文章中から抜き出して書きなさい。

③ 「……」の部分「……」と分けたら、後半が描まる初めの五文字を、文章中から抜き出して書きなさい。

国語の問題

4



解答類型から、課題を見付けて指導に生かす

2
藤田さんは、園歌などを刻みつけました。次は、いに答えなさい。

【後楽園の文学碑】

後楽園は岡山市にある庭園の名園の一つです。昔から後楽園を訪れる文学者は多く、周辺には文学碑が設置されています。私は以前から、これらの文学碑が気になっていたのです。後楽園を題材にして、どんな人が、どんな作品を作ったのかを調べることにしたのです。調べた中で私が注目したのは次の作品です。

「春寒き梅の疎林を行く鶴の高く歩みて枝をくぐらず」



(↑後楽園)

二文に分けられている生徒は、半数を超えています。しかし、誤答から敬体を使えていないことが分かります。授業で気を付けないといけないことは・・・



① — 部①を、「だから、」を使って二つの内容に分けて書き直すことにしました。一つめの文の終わりの七文字と、二つめの文の「だから、」に続く七文字を書きなさい。ただし、句読点は文字数に数えません。

【正答例】
なっていました。(だから、)後楽園を題材に

【誤答例】
気になっていた。(だから、)後楽園を題材に

解答率
33.3%

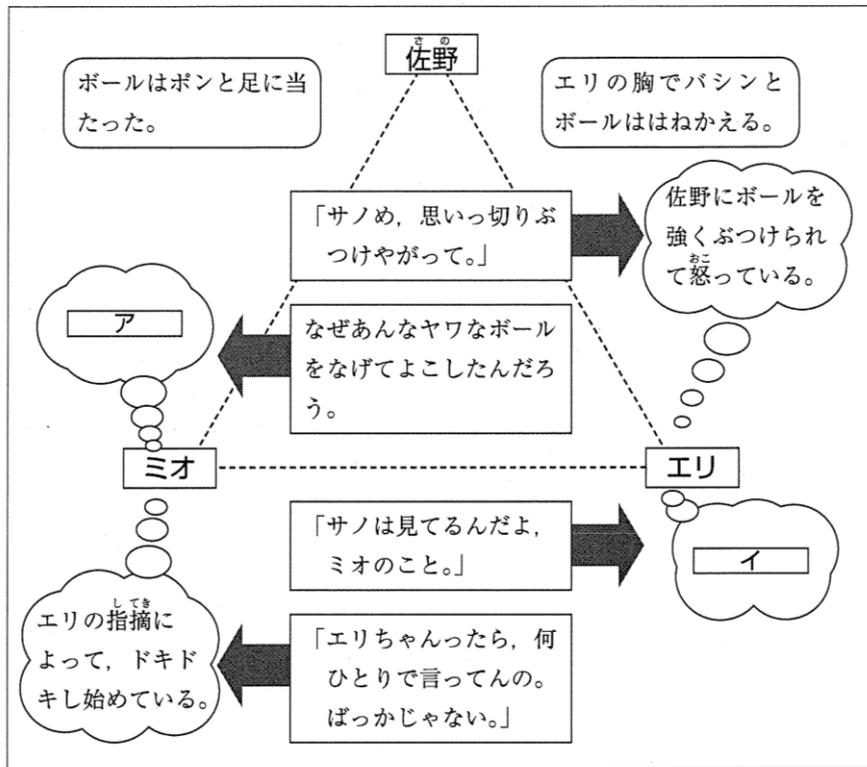
正答率
25.4%



問題の趣旨、正答の条件から、評価規準を明確にする

国語の問題 4

(4) 出典: 山崎 山崎さんは、この文章に登場する人物の関係を、図でまとめることにしました。次の図の **ア**・**イ** にあてはまる言葉として最も適切なものを、下の1から5までのの中から一つずつ選んで、その番号を書きなさい。



- 1 ミオが佐野に胸のキズのことを話していたと思っている。
- 2 佐野が弱いボールをなげたことを不思議に思っている。
- 3 強いボールをなげた佐野に対して反感を抱いている。
- 4 佐野がエリのことをよく見ていると感心している。
- 5 佐野はミオに好意を持っていると想像している。

◆ 出題のねらい

登場人物どうしの関係を読み取り、その内容を整理してまとめることができる。

	正答率	無解答率
(4)	49.3	10.1



解答類型から、課題を見付けて指導に生かす

◆ 解答類型と反応率

解答類型	正誤	反応率
アを「2」、イを「5」と解答しているもの	◎	49.3
アを「2」と解答しているが、イを「5」と解答していないもの	×	19.0
アを「2」と解答していないが、イを「5」と解答しているもの	×	6.0
上記以外の解答	×	15.5
無解答	×	10.1

【選択肢】

- 1 ミオが佐野に胸のキズのことを話していたと思っている。
- 2 佐野が弱いボールをなげたことを不思議に思っている。
- 3 強いボールをなげた佐野に対して反感を抱いている。
- 4 佐野がエリのことをよく見ていると感心している。
- 5 佐野はミオに好意を持っていると想像している。

ヒントとなる叙述の前後の登場人物の言動や情景描写から、登場人物の相互関係や心情に迫る根拠を見付けることが大切です。





◆ 解答類型と反応率

解答類型	正誤	反応率
条件①②③をみたしているもの	◎	16.1
条件①②を満たし、条件③を満たしていないもの	○	0.4
条件①③を満たし、条件②を満たしていないもの	○	0.6
条件②③を満たし、条件①を満たしていないもの	○	27.6
上記以外の解答	×	18.1
無解答	×	37.2

完全正答にするためには、3つの条件全てを満たす必要があります。

何を足せば、完全正答になるかを指導することが大切です。



【正答条件】

- 条件① 「白い小犬がとびこんでくるように」という箇所を「 」を使って引用している。
- 条件② 「佐野のボールがやさしくて、ミオに対する思いやりにあふれていることが伝わってくる」という理由を書いている。
- 条件③ 「それは、」に続けて、70字以上、100字以内で書いている。



どの段階までの力が身に付いているか？

文学的な文章の解釈に関する指導事項

<低学年>

場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

<中学年>

場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

<高学年>

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

参考

文学的な文章の基本的な構成要素

- 時間、場所、問題状況などの設定
- 情景や場面の様子の変化
- 主人公などの登場人物
- 登場人物の性格や行動
- 会話及び心情の変化
- 事件の展開と解決



高学年の「文学的な文章の解釈」に関する指導事項

「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ」とは？

中心となる登場人物について、その相互関係をとらえ、それらに基づいて心情や場面の描写をとらえること。

とらえるべき点とは？

登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえ、そのことによって、内面にある深い心情も合わせてとらえること。

登場人物の心情が描写されるのは？

直接的に描写されている場合

登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合

これらの表現の仕方にも注意し、想像を豊かにしながら、読むことが大切です。





高学年の「文学的な文章の解釈」に関する指導事項

「優れた叙述について自分の考えをまとめる」とは？

場面の展開に沿って読みながら、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して自分の考えをまとめること。

まとめる時の視点は？

象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容などに気付く
それらを評価したり、自分の表現に生かしたり、感想文や解説文などにまとめたりする。

同じ作者や同じ題材の作品を比べて読むようにして、児童が自分で優れた叙述に気付いていくことができるように工夫することが大切。

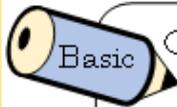




生徒質問紙から、授業を検証する

◆ 自分の考えを持ったり、友達に説明したりする力を身に付けさせるためには...

②自分で考え、表現する時間を確保する



- 一人一人の児童生徒が、めあてに対する自分の考えを持ち、その考えを表現することができる方法を示します。
- もった考えを交流することで、考えを深めたり広げたりすることができるようにします。



児童生徒一人一人に、「伝えたい、他の人の考えを聞きたい」と思える「自分の考え」をもたせることが重要です。
グループ学習においても必ず自分の考えをもって話し合いに臨むようにさせることが大切です。



考えをまとめたり、書いたりする時には、児童生徒の発達段階に応じて、字数の制限をしたり、根拠を明らかにした記述になるよう条件を付したりすることも考えられます。

○自分の考えをもつために



- *児童生徒が、めあてに対する自分の考えをもつために、教員は思考・表現の手がかりとなるものを示したり、準備したりします。
- ・考える視点の提示
- ・ワークシートの工夫
- ・資料等の量的・質的充実 など

○発表して終わりにしないために



- *グループ学習・ペア学習を行う場合は、話し合うこと自体を目的にするのではなく、互いの考えを交流することで児童生徒に身に付けさせたい力を意図した学習活動を取り入れます。
- ・相手に説明する
- ・相手に説得する
- ・互いの考えを比べる
- ・発想を広げる など





中学校区で授業改善に取り組む

平成28年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

◆ 系統性を踏まえた授業づくり～学年間／小・中の接続～

調査問題、調査結果を持ち寄り、今後の国語の学習指導の在り方の検討をすることが大切です！



岡山県教育委員会

平成28年度 岡山県学力・学習状況調査

中学校 第1学年 国語

実施時間：45分

「始めなさい」の指示があるまで、この問題用紙は開かず、下の調査の受け方を読んでおきなさい。

調査の受け方

問題用紙に書きなさい。

問題用紙には、組、番号、解答用紙には、名前、性別、小学校コードを書きなさい。

問題用紙には、だまごうがあるときは、だまごうを記入しなさい。

問題用紙には、だまごうがないときは、だまごうを記入しなさい。

1年 組 番号

岡山県教育委員会

① 藤田さんは、このレポートのまとめで、自分の考えを次のようにまとめた。これを読んで、あとの②の問いに答えなさい。

昔から楽園の風景には魅力が欠かれない。は、タンチョウの数が減って、に指定されるは、なってしまう。

② 藤田さんは、このレポートのまとめで、自分の考えを次のようにまとめた。これを読んで、あとの③の問いに答えなさい。

「春寒の梅の影は行く鶴の多く多て枝をくさす」これは、歌人の中村重吉が後楽園を訪れたときに、梅林を歩くタンチョウの姿を詠んだ短歌です。藤田さんは、この時代には、そんな風景がよく見られたのです。首をすつと伸ばした姿勢で歩いている鶴の姿が目た中、私が注目したのは次の作品です。

「春寒の梅の影は行く鶴の多く多て枝をくさす」

これは、歌人の中村重吉が後楽園を訪れたときに、梅林を歩くタンチョウの姿を詠んだ短歌です。藤田さんは、この時代には、そんな風景がよく見られたのです。首をすつと伸ばした姿勢で歩いている鶴の姿が目た中、私が注目したのは次の作品です。

（1）中村重吉の文学碑

（2）後楽園

後楽園の文学碑

後楽園は岡山市にある庭園で、日本三名園の一つです。昔から後楽園を訪れる文学者は多く、庭園には文学碑が設置されています。私は以前から、これらの文学碑が気になるので、後楽園を題材にしてどんな人がどんな作品を作ったのかを調べることにしました。調べた中、私が注目したのは次の作品です。

藤田さんは、岡山県の後楽園にある文学碑（右）短歌の歌を詠みつけたものについて調べてレポートにまとめました。次は、その一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

この問題で問われている力を付けるためには、どんな指導が必要なのだろう？

この問題は、中学校の指導内容と、どうつながっているのかしら？

「登場人物の心情や描写」を読み取る力がずっと課題だけど、どんなところでつまずいているんだろう・・・



中学校区で授業改善に取り組む

◆ 系統性を踏まえた授業づくり～学年間／小・中の接続～

C 読むこと「文学的な文章の解釈」に関する指導事項の発展系統（学習指導要領から）



	学年	推敲
小学校	1・2	場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
	3・4	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。
	5・6	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。
中学校	1	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。
	2	描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。
	3	場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。



■ 条件に合わせて自分の考えをまとめる力

自分の知識や経験、考えなどに関係付けながら文章を読み、それに対する自分の考えを条件(字数など)に合わせて簡単に書いたり、詳しく書いたりすることができるように指導することが必要。

<指導例>

文章から把握できる事実を根拠として挙げながら理由を明確にして自分の考えをまとめて書くことや、考えたことを発表する交流活動を通して、必要に応じて、他者の考えを自分の考えに取り入れることができるようにする。授業の中で、共通点や相違点に目を向けさせる活動を行い、読み手を意識し表現を工夫するような学習活動に取り組む。

- ✓ 「書くこと」の領域に限らず、全ての活動の中で...
- ✓ 日々の授業の振り返りの中で...
- ✓ 帰りの会(SHR)での3分日記(短作文)の中で...

